

関係者各位

宿毛漁業指導所

貝毒プランクトンの調査について

貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。検鏡の結果、麻痺性貝毒の原因種であるギムノディニウム カテナータム及びアレキサンドリウム属が最大で0.023及び0.011細胞/ml、下痢性貝毒の原因種であるディノフィシス属が最大で0.042細胞/mlと非常に低密度ながら確認されました。

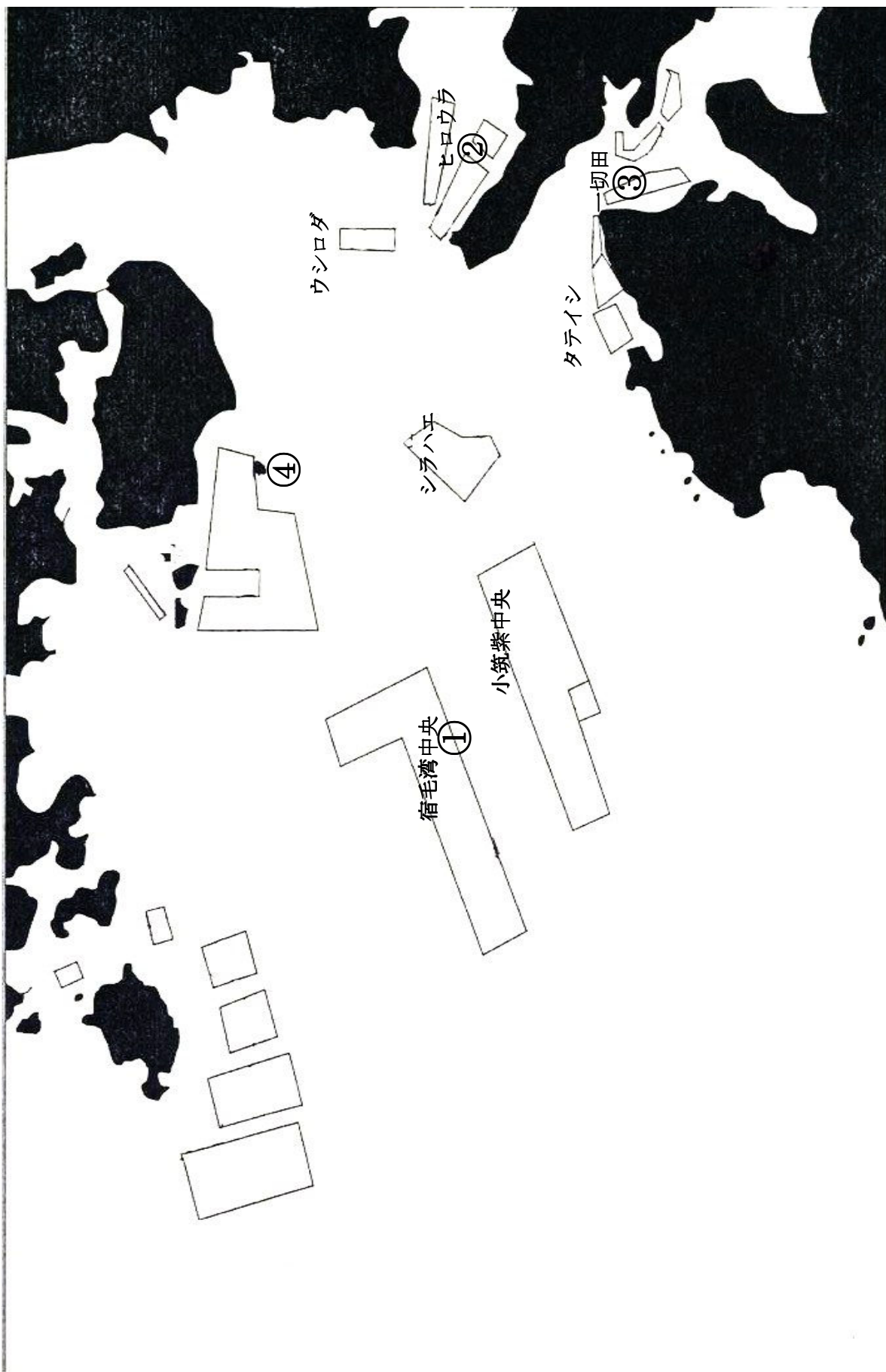
※（宿毛湾中央、ヒロウラ及び一切田及の海水1ℓを1000倍に濃縮して検鏡しています。）

調査時間：10:27～11:25

採集地点	水深	水温	塩分	溶存酸素	ギムノディニウム	アレキサンドリ	ディノフィシス
	(m)	(°C)	(psu)	(mg/L)	カテナータム*1	ウム属*1	属*2
宿毛湾中央 下図① 透明度 18m	0	19.9	35.0	6.99	0.000	0.004	0.000
	5	19.9	35.0	6.85	0.000	0.001	0.000
	10	19.9	35.0	6.79	0.000	0.000	0.000
ヒロウラ 下図② 透明度 9m	0	17.9	33.6	7.59	0.000	0.001	0.042
	5	19.4	34.6	6.84	0.023	0.011	0.004
	10	19.8	34.9	6.74	0.003	0.001	0.006
一切田 下図③ 透明度 14.5m	0	19.5	34.8	7.17	0.000	0.000	0.003
	5	19.6	34.8	6.97	0.000	0.001	0.008
	10	19.7	34.9	6.90	0.000	0.000	0.009
真珠漁場 下図④ 透明度 18m	0	19.5	34.8	7.14	0	0	0
	5	19.7	34.8	6.98	0	0	0
	10	20.0	35.0	6.89	0	0	0

\*1：麻痺性貝毒の原因種

\*2：下痢性貝毒の原因種



ウシロダ

マエバシ  
②

マエダ  
③

マエダシ

シラハマ

④

シズマキ  
①

シズマキ中央

